

会議録

会議の名称	第1回 飯塚市文化施設活用検討委員会
開催日時	令和5年7月14日（金）14：30～16：30
開始場所	イイツカコミュニティセンター 4階 学習室 401
出席委員	徳永委員、河委員、瓜生委員、緒方委員、鈴木委員、榎本委員、安徳委員、長曾我部委員、金原委員、多賀谷委員、中島委員、竹川委員、奥田委員、豊嶋委員
欠席委員	元野木委員
事務局	山田教育部長、坂口文化課長、久原文化施設整備担当参与、吉田文化施設整備推進係長、本松商工観光課長補佐
会議概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 教育長あいさつ 3 委嘱状交付 4 委員および事務局紹介 5 委員長および副委員長の選出 6 諮問 7 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 嘉徳劇場にかかるこれまでの検討経緯 (2) 諮問事項の趣旨について (3) 今後の審議の進め方 (4) 施設改修・管理運営計画の基本理念（案）について (5) その他 8 閉会
会議資料	資料1 嘉徳劇場にかかるこれまでの検討経緯 資料2 第1回飯塚市文化施設活用検討委員会
公開・非公開の別	① 公開 2 一部公開 3 非公開 （傍聴者1人）
その他（非公開理由等）	

会議内容

1 開会

2 教育長あいさつ

嘉徳劇場は、これまで経営を続けてこられた NPO 法人が 2021 年 5 月にコロナ禍で経営継続を断念し休館、2021 年 9 月に飯塚市が贈与を受けて今日に至っている。建設当時の外観や建築構造、芝居小屋機能がそのまま保存、継承されており、再開を望む市民の声が多く届いている。新しい発想の中で公共施設の役割を果たしていく必要があることから、令和 4 年 3 月より第 1 期委員会を設置し、これからの活用策についてご意見を賜った。具体的な運用方法や改修方法について早急に検討し、出来る限り速やかに再開を目指していくため、様々な視点から考察し、施設改修・管理運営計画を策定するため第 2 期の委員会を設置した。第 1 期の熱い想いを行政としても受け止め、再開の責任を果たしていきたいと考えている。忌憚のないご意見をいただきたい。タイトなスケジュールで恐縮だが、活発な議論をお願い申し上げたい。

3 委嘱状交付

4 委員および事務局紹介

5 会長および副会長の選出

委員長に河委員を、副委員長に徳永委員を選出

6 諮問

諮問事項：嘉徳劇場施設改修・管理運営計画の策定について

7 議題

(1) 嘉徳劇場にかかるこれまでの検討経緯について

委員長：今回は具体的な方針を決めることになる。第 1 期メンバーで熱心に描いた夢をいかに具体的に実現させるか。責任を感じているが、それぞれの分野で専門家が集まっており心強い。忌憚のないご意見をいただきたい。

●事務局より資料 1 について以下のことを説明

①嘉徳劇場の概要

②嘉徳劇場の略年表

③第 1 期飯塚市文化施設活用検討委員会の審議および答申内容

(2) 諮問事項の趣旨について

●事務局より資料 2 (p.5~8) について以下のことを説明

①改修・管理運営計画と保存活用計画の概要 (p.6,7)

事務局：先の答申にあった 4 つの性格のうち「①劇場」「②多目的公共施設」「③観光施設」としての性格を果たしていくため、嘉徳劇場の施設改修・管理運営計画を本年度策定する。この計画について本委員会にて審議いただきたい。

「④文化財」として活用していく具体的計画については、飯塚市文

化財保存活用推進委員会にて審議していく。

②本委員会で検討する施設に関する項目案について説明 (p. 8)

【質問・意見等】

○「飯塚市文化財保存活用推進委員会」との情報共有について

委員長 : 文化財としての活用は飯塚市文化財保存活用推進委員会で議論されるようだが、その内容は共有されるのか。

事務局 : 本計画に反映されるものは共有していきたい。施設改修・管理運営計画は大きな指針を示すもの。保存活用計画と整合性を取りながら進めていきたい。

委員 : 私は飯塚市文化財保存活用推進委員会の委員でもあるため、情報共有する立場として参加させていただいている。

副委員長 : p. 8 の検討範囲にある通り、耐震診断等との調査範囲とは切り離せないものである。舞台照明などの吊物機構は躯体の修繕と関連する。現場でも連携しながら進めていただきたい。本委員会でも情報共有されたい。

(3) 今後の審議の進め方

●事務局より資料 (p. 9~11) について以下のことを説明

①本委員会のスケジュール案 (p. 10)

②本委員会と市民ワークショップとの関係 (p. 11)

事務局 : 市民ワークショップで出された意見などをこの委員会でも紹介していくので、議論を深めていただきたい。

業務の検討状況によってスケジュールが変わる可能性がある。最後までご協力いただきたい。

【質問・意見等】

○委員の市民ワークショップ参加について

委員長 : 市民ワークショップは委員も参加してよいのか。

事務局 : ぜひ見学に来ていただきたい。若い方の参加をお待ちしている。まだ募集しているので、お声かけをお願いしたい。

(4) 基本理念 (案) について

●事務局より (p. 12~17) について以下のことを説明

①前回答申で示された内容 (p. 13, 14)

②基本理念案 (3案) (p. 15~17)

事務局 : 昨年度提出された答申内容を踏まえて、施設改修・管理運営計画の基本理念についてご審議いただきたい。

3案提示しているが、それ以外にも委員の皆様よりアイデアを頂戴したい。

【質問・意見等】

○委員長からのグループワークの提案

委員長：新しい委員も参加されているため、共通認識をつくることが大切と考える。小グループに分かれてグループワークを行いたい。

○劇場の文化的・歴史的価値の確認

委員：嘉徳劇場の文化的・歴史的価値の定義を教えてください。どの部分のことを指すのか。

事務局：文化的価値が最も高いと言われているのは、90年間劇場として運営を続けてきたことであると第1期委員会で話されていた。映画館に変わる劇場が多かった中、今もなお芝居小屋として残っている。また、嘉徳劇場内に意匠等が保存されていること、現存している芝居小屋で最大規模であることも保存的価値が高いと整理している。

事務局：答申書p.6に文化的価値についてまとめている。

委員：大きい廻り舞台や綱元などの具体的なことは文化的価値として入っていないのか。機構に関わることになる。

事務局：舞台機構についても評価されている。

委員：登録有形文化財に申請した際の所見を次回委員会で配布されたい。

●グループワーク

【グループA発表】

- ・若者を惹きつけていくことが重要。一方で「大人の嘉徳劇場」というキーワードも出された。
- ・どう活用していくか、誰が運営するのか、稼ぐ劇場となるのかどうか。
- ・運営するにあたり、守るのか活用するのか。
- ・観光という視点でいうと嘉徳劇場だけでは吸収力が弱いいため、宿泊やアクセス、インバウンドの視点も必要になる。
- ・ハード面について、「文化財・保存」という観点からどこまで改修することができるのか。構造上文化財として守るべきことと利便性向上を並行させる必要がある。いずれにせよ劇場の持つ空気感を守る必要がある。
- ・その他、周辺をどう活用するのか。
- ・実現可能性は未知数だが面白い議論ができたと考える。

【グループB発表】

- ・金銭面の話が多く挙がった。どうすれば稼げるのか。スターバックスなどの大企業が参入するようなことを考えてはという意見も挙がった。

- また、劇場としては、アニメや2.5次元ミュージカルなどの新しいコンテンツを発信していくという意見も挙がった。
- 演劇の場としては、近代的な文化ホールにはない魅力があることが大きい。歴史的建造物であるからこそその一体感、唯一無二の価値がある。
- 劇場としての機能を残すのか、稼ぐという方法に振り切るべきか、2つの意見に分かれた。

(5)その他

事務局 : 第2回委員会は8月31日(木)15:00～を予定。